

防府西高校

2006年1月23日、25日、30日で防府西高校での組換えDNAキットの生徒実験が行われました。この実験では大学からキットを送っただけで、高校の先生と生徒さんたちで独自に実験が行われました。結果は成功とのことでした。キットの制作費は生物工学会西日本支部に援助していただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

防府西高生徒の感想

・今まで行ってきた実験の中で、一番面白かったと思います。実験中はワクワクしていて、成功した時はとても嬉しく、充実感を得ることができました。一つ疑問があるとすれば、一番最初の酵母菌（ウラシルが無い酵母菌）をどうやって作り出すかということです。とにかく、良い体験をさせて頂き、ありがとうございました。---（ウラシルの無い酵母菌は突然変異で作ります。赤田）

・こういう実験ができるという現代は、本当にすごいなあと思いました。ぜひ、また、こういう実験をしたいです。お忙しい中、道具や資料を無料で提供いただき、ありがとうございました！！

・はじめ、遺伝子組み換えと言われてもどうなるのか予想もつかなかったけど、実験をすすめ、成功するとはじめて遺伝子組み換えの実感ができ、とてもすばらしいと思った。

・遺伝子組み換えを実際に実験してみて驚きの連続でした。遺伝子組み換えはとても難しいことだと思っていたので高校生の私たちでも出来ることにとても意外だと思った。普段私たちが口にしている遺伝子組み換え食品にも目をむけていきたいと思う。

・遺伝子組換えの実験をして、目の前で見ることができてすごいと思いました。教科書だけではあまりよく理解できなかったけれど、自分で経験する事ですごい事なんだと実感し、またちゃんと知識をもっていないといけないという事を考えさせられました。この実験では実験器具は包装されて滅菌されていたり、実験過程で空気中の菌に注意したりと普段の実験とは違った雰囲気でした。なので、いつもより実験に興味をもちました。マニュアルと先生のおかげでなんとか分かる事ができたと思います。高校生活最後の生物Ⅱの授業で、この組換えDNA実験キットを使って組換えについて学べてよかったと思います。

・今回の実験を通してこんな簡単に高校生が遺伝子の組換えができるとは思いませんでした。これなら将来もっと発展した日本を作る事ができそうです。でもこれを悪い事に使わないでいい事への発展に使ってほしいです。